**■科目名**

日常生活援助技術Ⅲ（清潔）

**■授業の目的**

看護における清潔援助の意義を理解し、対象の状態や環境に応じた援助技術を安全・安楽に実施できる基礎的能力を身につけることを目的とする。

**■到達目標**

1. 身体の清潔保持の意義と皮膚・粘膜の健康状態の基礎知識を説明できる。
2. 清潔援助の効果と対象に与える影響を理解できる。
3. 頭髪、口腔、陰部、四肢など各部位への清潔援助の方法を理解し、実践に必要な知識を習得できる。
4. 更衣や整容の援助技術を理解し、対象の自尊心に配慮した援助ができる。
5. 清潔援助を安全・安楽に実施するための留意点を説明できる。

**■授業内容（全8回・各90分）**

**第1回：清潔援助の基礎理解**

* 「清潔」の定義と看護における意義
* 身体の清潔保持と健康の関係
* 援助における基本的態度と倫理的配慮
* 清潔援助の種類と分類（全身清拭、部分清拭、洗髪など）
* 援助に必要な物品の理解と取り扱い

**第2回：皮膚の構造と清潔援助の効果**

* 皮膚の構造・機能と観察ポイント
* 正常皮膚と異常所見の見分け方
* 清潔援助による身体的・精神的効果
* 褥瘡予防と清潔援助の関連
* 感染予防の視点からみた皮膚ケアの重要性

**第3回：頭部の清潔援助（頭皮・頭髪）**

* 頭皮・頭髪の衛生状態と観察ポイント
* 洗髪の目的と実施時の留意点
* 座位・臥床での洗髪方法と手順
* 洗髪時における安楽の工夫と安全確保
* 頭皮マッサージの効果と注意点

**第4回：口腔ケアの基本と実践**

* 口腔内の構造と生理的特徴
* 口腔ケアの目的（虫歯・歯周病予防、誤嚥性肺炎の予防など）
* 自立対象・要介助対象それぞれのケア方法
* 口腔内観察と異常の発見
* 各種用具（スポンジブラシ、義歯用ブラシなど）の使用法

**第5回：更衣と衣生活の援助**

* 衣類の選択と季節・体調に応じた配慮
* 更衣援助の手順と片麻痺などの障害特性への対応
* 対象の羞恥心やプライバシーへの配慮
* 衣類の素材・構造と快適性への影響
* 更衣動作の自立支援と残存機能の活用

**第6回：全身清拭と陰部洗浄**

* 全身清拭の目的、必要物品、環境調整
* 清拭の具体的手順と皮膚状態の観察方法
* 陰部洗浄の必要性と実施時のプライバシー保護
* 排泄ケアとの関連と一連の援助としての位置づけ
* 感染防止と職業感染への対応（手袋使用・廃棄物処理など）

**第7回：部分清拭と整容の援助**

* 足浴・手浴・洗面の方法と観察ポイント
* 爪切り、髭剃り、整髪の援助方法
* 清潔保持だけでなく、自己尊重感への影響
* 生活の質（QOL）と整容の関連
* 対象者の嗜好や生活歴に応じた援助の工夫

**第8回：入浴の援助**

* 入浴の目的と効果（身体・心理・社会的側面）
* 一般浴、シャワー浴、機械浴の種類と特徴
* 入浴前後の観察項目（バイタルサイン、皮膚状態など）
* 安全で安楽な入浴の工夫（転倒予防、湯温・室温の調整）
* 禁忌・注意が必要な対象者への対応方法